



今年の冬は、ことのほか寒さが厳しく、北国は大雪となりました。とても待ち遠しかった春ですが、つくしが可愛らしい姿をのぞかせ、ようやく吹く風にも春を感じるようになってきました。南の地方からは、桜の便りも届き、次第に頼もしさを増す日差しに春の訪れを感じております。今年度最初の「くまのみ通信」、元気よくお届けします。

第26号
2012. 4月発行

発行元
医療法人吉備会
中谷外科病院
患者サービス向上委員会
委員長 中谷紳
〒706-0001
玉野市田井3-1-20
TEL 0863-31-2323
FAX 0863-31-8486
ホームページ <http://www.nakatani-hosp.jp>
Eメール Goiken@nakatani-hosp.jp

診療受付時間
月～金 9:00～12:00
15:30～18:30
土 9:00～12:00

＜中谷外科病院の基本方針＞

- I: 常に患者様の立場に立ち、行動する。
- I: 消化器内視鏡、大腸肛門病の専門病院として最新・最善の医療を提供する。
- I: 多職種間によるチーム医療の充実をはかる。
- I: 在宅復帰を支援し、社会に開かれた地域医療を行う。
- I: 職員同士の和を重視し、思いやりのある医療を実践する。

「再び初心に戻って」

桜の咲く美しい季節、復興まっただ中のこの国で私たちは新年度を迎えました。日頃より皆様方には大変お世話になり心より感謝申し上げます。

1年前は先が全く見えず、辛い年度初めとなりましたが、今私たちは希望を持ち一歩ずつ前にむかって進んでいます。新年度最初の診察日である今朝、職員朝礼を行いました。今再び初心に戻って、私たち中谷外科病院スタッフは「患者様とともに歩む」という理念のもと、常に患者様の立場に立った思いやりのある医療を提供できるよう、これからも一丸となって努力していこうと皆で誓いあいました。

平成24年度は新たな基本方針として「多職種間によるチーム医療の充実」を掲げました。医療の現場では患者様を中心に、医師や看護師、薬剤師、事務職などコメディカルが心をつなげて治療やケアにあたる必要があります。私たちは職員の和のもと、消化器内視鏡、大腸肛門病の専門病院として地域に貢献し、在宅復帰を支援し社会に開かれた医療を行ってまいります。

今年度が皆様方にとり素晴らしい時となりますよう祈念し、引き続き叱咤・激励いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成24年4月1日 中谷外科病院院長 中谷紳

第5回院内研究発表会

2月18日(土) 各部署、各委員会全10チームで研究発表会を行いました。(自由テーマ)

発表チーム	テーマ
看護部 助手	今一度カンファレンスの実態を見直す(小さなことからコツコツと・・・こんな事やってます)
診療部	当院における胃・大腸内視鏡検査-最近のピックアップ-
褥瘡・NST委員会	当院における入院患者の栄養評価
患者サービス委員会	必要とされるサービス
看護部 病棟Bチーム	ターミナル期のQOLを考える信仰心に支えられて自立しようとする患者へのアプローチ
事務部	楽しんでやろう省エネ・コスト削減
院内感染委員会	気管内、口腔内吸引における感染対策
看護部 外来	大腸内視鏡検査、前処置薬の検討
看護部病棟Aチーム	空白の詰所から満たされた詰所へ
医療安全委員会	KYTを用いた医療事故防止

どの発表も翌日から早速実践できるような内容や興味を惹くような内容、他部署でも参考にしたい内容でした。どのチームもこの日のために限られた時間をフルに活用し、充実した発表会だったと思います。また、この発表会を通して多職種間でのコミュニケーションを図ることができ、病院全体が元気になったように感じました。



患者サービス向上委員会 西田

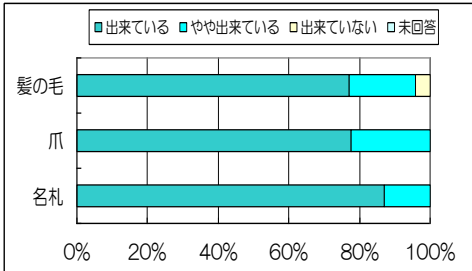
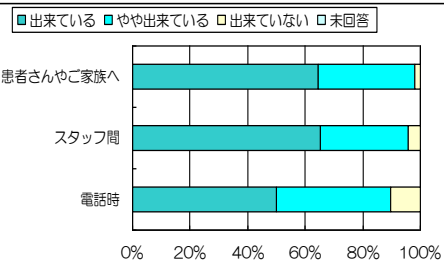


患者サービス向上委員会

患者サービス向上委員会では『必要とされるサービス』を明確化するために従来のアンケートの内容をさらに掘り下げ検討し、研究発表を行いました。

あいさつ

身だしなみ

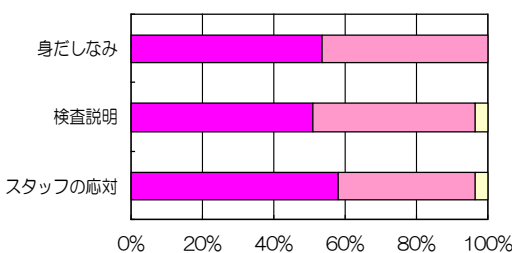
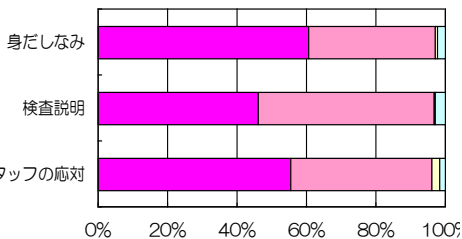


《 外来 》

《 入院 》

満足 普通 やや不満 未回答

満足 普通 やや不満 未回答



今回のアンケートを通し、患者さんに満足していただくには、**接遇**（あいさつ、身だしなみ、態度、言葉使い、笑顔）が大切であることを再確認しました。

今後患者さんがストレスを感じることなく、病気と向き合い、乗り越える手助けとしてサービス向上委員会ですべて改善していけたらと思います。

患者サービス向上委員会 矢吹 弘子

この紙面の挿絵は、93才の患者様が入院中に描かれた作品です。とても優しく癒される作品を、皆様にも見ていただきたく、ご本人の了承の元、掲載させていただきました。



第6回 スタッフのひとりごと

子供たちとともに・・・

結婚して12年・・・早いもので、4月から長男は小学6年生、次男小学2年生、長女は年長さんになります。3人連れて保育園に通っていた頃を思えば、本当にずいぶんと楽になりました。

長男と次男の宿題をみてやりながら、1年生では簡単なたし算ひき算なのが、5年生になると、公式を使って円の面積を求めたり、難しい文章題を頭を抱えながら解いたり、5年間の子供の成長をとてもうれしく思います。反対に自分はこの5年間成長できたかな・・・と考えさせられます。「子育てが忙しい」は言い訳だよ。ある大学の先生に言われました。目標を持って一日々をしっかりと子供に負けられないように成長していきたいなと思います。

管理栄養士 松本 英子

新人紹介 今春より2名の方が入社されました。

リハビリ部助手:内田礼子

看護部助手:大野圭子

以前にもリハビリ助手の仕事をしていたので、こちらで働かせて頂き嬉しく思っております。リハビリ室の先生に助けられなんとかやっております。よろしくお願い致します。

こちらで看護助手としてお世話になっております。患者様との関わりを大事にしていきたいと思ます。よろしくお願い致します。

お知らせ

H24年4月より外来でも医療限度額認定証が使えるようになりました。提示により医療機関の窓口の支払いが、一定の金額にとどめられます。（限度額は所得に応じて異なります。）70才未満の方と70才以上の非課税世帯の方は加入する医療保険者への事前申請にて限度額適用認定証の交付を受けて下さい。